第5章 生活排水対策に係る啓発 に関する事項

1. 生活排水対策に係る啓発に関する基本方針

(1) 啓発活動の位置づけ

市内河川は重信川や石手川と比べ、水質悪化が著しい。市内河川の水質悪化の原因は、生活排水によるものが大きい。生活排水は市民の日常生活に根ざすものであり、生活排水対策は市民一人ひとりの意識と行動が重要となる。

本市では、水辺の環境保全のため、地域で市民や団体による様々な取組が行われている。これらの活動を促進していくことにより、市民一人ひとりの意識を高め、具体的な行動につなげていく。また、環境学習の側面からも水質保全活動に積極的に取り組んでいく。

(2) 啓発活動の基本方針

生活排水対策に係る啓発活動の推進にあたり、次のような基本方針を設定する。

<基本方針>

- 生物多様性の基盤となる水辺の保全を行う。
- 地域で活動している市民・団体の活動を促進する。
- 環境学習の側面からの水質保全活動を推進する。

生物多様性の基盤となる水辺の保全を行う。

河川などの水辺は生き物の貴重な成育・生息空間であり、生態系の多様性により生物多様性を支える基盤となる。このような水辺の普及啓発を図っていく。

地域で活動している市民・団体の活動を促進する。

清掃・美化や自然観察など河川をフィールドとして地域で環境保全活動を行っている市民や 団体の活動の情報発信を図り、活動を行う人々や活動の場を拡大していく。

環境学習の側面からの水質保全活動を推進する。

エコリーダー派遣事業などを活用し、水に関する市民の認識を拡大・深化させていく。そのために、大人だけでなく次世代を担う子供に対しても水についての総合的な環境学習の推進を図っていく。

(3) 具体的な取組

生活排水対策として、市民や事業者が実践できる具体的な取組には、次のようなものがある。

台所(流し)での取組

- 食事や飲み物は必要な分だけ作り、飲み物は飲み切れる分だけ注ぐ。
- 食器を洗う前に、油汚れなどはふき取る。
- 水切り袋や三角コーナーを利用して、野菜の切りくずなどの細かい ごみを流しに流さない。
- ・ 洗剤は薄めて使い、使いすぎないようにする。
- 残った油は継ぎ足して使ったり、炒め物に使うなど、できるだけ捨てないように努力する。やむを得ず捨てる際は、凝固剤で固めたり、新聞紙に吸わせるなどして流しに流さない。



トイレでの取組

● 浄化槽等への悪影響を避けるため、軽い汚れのうちにこまめに掃除 し、アルカリ性・酸性洗剤の使用量を減らす。

洗濯での取組

- 洗剤は計量スプーンでしっかり測り、入れすぎないようにする。
- くず取りネットを取り付けて、細かいごみを流さない。

お風呂での取組

- シャンプーやリンスは適量を守り、使いすぎないようにする。
- 事水口にネットなどを設置して、髪の毛などが流れないようにする。
- お風呂の残り湯を洗濯などに利用する。



2. 啓発活動に係る事業の実施計画

(1) 啓発活動の現状

エコリーダー派遣事業

本市では、市民の環境学習活動を推進するために、学校や地域などで環境学習や環境保全活動を行うときに、指導(実験や公演)をしてくれる「エコリーダー派遣事業」を実施している。 平成29年度は、水環境について以下のような活動が行われた。

学習のテーマ	会場	開催日	参加人数
桑原の里を見つめ直そう	桑原小学校	H29.5.11	135
総合的な学習<ぼくら環境守るんジャー>その①	湯山小学校	H29.6.15	67
総合的な学習<ぼくら環境守るんジャー>その②	湯山小学校	H29.6.22	69
大川を観察しよう	清水 9 区分館	H29.7.20	26
水生生物の観察	小野小学校	H29.9.29	67
水生生物の観察	小野小学校	H29.10.4	68
くらしを見つめて〜環境に優しい町へ〜	高浜小学校	H29.10.31	53
クリーンアップ石手川	八坂小学校	H29.11.2	21
出動!環境戦隊くぼ田レンジャー	窪田小学校	H29.11.24	62
6年理科「人と環境」	双葉小学校	H30.2.21	23

表 5-1 平成 29 年度エコリーダー派遣実績(水環境関係)

サマー!エコキッズスクール

本市では、市職員やエコリーダー、 市内事業所の職員等が講師となって、 夏休みの期間中、小学校 4~6 年生を 対象に体験型環境学習「サマー!エコ キッズスクール」を実施している。

平成 29 年度は、水環境について以下のような活動が行われた。



図 5-1 平成 29 年度サマー! エコキッズスクールチラシ

第5章 生活排水対策に係る啓発に関する事項

表 5-2 平成 29 年度サマー!エコキッズスクール(水環境関係)						
講座名	会 場	開催日	参加			
よう!考えてみよう! 地球	環 (公社)愛媛県浄化槽協会	1100 7 00				

加人数 気にしてみる 16 H29.7.22(辻町) 境と水環境 ~体験型講座~ 下水道!!行ってみよう浄化センター!や 西部浄化センター H29.7.26 16 ってみよう実験! (南吉田町) 石手川&森の探検隊!~自然の大切さや 米野々森林研究センター H29.8.6 20雨・山・川の役割を考えよう~ (大井野町)

下水道お話し教室

本市では、生活する中で欠かすことのできない「水」の使用後について、普段は目にすること のない下水道の実情や役割を知り、水環境の保全の大切さを体感して学んでもらうことを目的と して、小学校4年生を対象に「下水道お話し教室」(出張講座)を実施している。

平成29年度は、市内9校、696名に対して実施した。





写真 下水道お話し教室

(2) 啓発活動の推進

本市では、「エコリーダー派遣事業」や「サマー!エコキッズスクール」、「下水道お話し教室」 などの活動をさらに充実・拡大していくとともに、市民や団体の地域での啓発活動を推進してい くことにより、市民の水辺の環境保全についての意識啓発を図っていく。